

運転時の低血糖

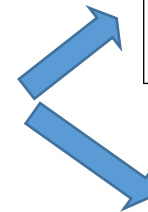


- 多くの患者さんが運転時の低血糖を経験しています。低血糖の症状は意識に関わるものが多く、判断力の低下は大事故につながる恐れがあります。
- 運転中の低血糖は心がけ次第で未然に防げます。

運転時のこんな症状をそのままにしておくと危険です



低血糖を感じたら《すぐに停車》



休憩後にしっかり回復したら運転OK



低血糖を感じたら早めに安全を確認し停車

すぐにブドウ糖またはブドウ糖含有の食品を摂取（ブドウ糖 10g）

すぐに運転開始せず、30分程度休憩をする

回復しない場合は同量のブドウ糖摂取。回復しなければ医療機関受診する

《運転時の低血糖を予防するために》

- 1 体調が悪いときは無理をしない
- 2 特に長距離運転時は事前に血糖測定を行い、血糖が 100mg/dl 以上あることを確認しましょう
- 3 車の中や手の届く範囲にブドウ糖などを常備しましょう



2013年6月に道路交通法が改正され、自動車の運転に支障をおよぼす病気の症状について、免許の取得や更新時に申告することになりました。もし虚偽の回答をした場合には、1年以下の懲役または30万円以下の罰金刑を受けることになりました。

万が一、低血糖を自覚しながら対処せずに事故を起こした場合、刑事および民事責任を問われる場合があります